

平成28年度第1回（第103回）連絡協議会 会議録

日時 平成28年6月9日（木）午後7時から午後8時50分まで
場所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室

- 開会あいさつ 吉岡会長
- 事務局長あいさつ 村上事務局長
- 衛生組合の紹介【ビデオ上映】
- 連絡協議会の概要説明
- 自己紹介

- 小平市・東大和市・武蔵村山市の担当課長及び衛生組合の担当職員
- 自治会会長及び専任者

6 議題

(1) 連絡協議会会長・副会長の選出について

【吉岡会長】

- 会長・副会長について、立候補される方推薦のある方はないか。⇒〔各委員声なし〕

【吉岡会長】

- それでは、発言がないようなので、事務局のほうでよろしく願いたい。

【事務局からの提案】

- 事務局案として、松の木自治会の延味会長に連絡協議会の会長、副会長については、次回以降調整させていただきたい。

【吉岡会長】

- 事務局から提案された、会長に松の木自治会の延味会長、副会長は、次回以降調整ということで、承認される方は拍手をお願いしたい。⇒〔拍手多数〕

【結果】

- 会長には、松の木自治会の延味会長が、副会長は今後調整ということで「承認」された。――正・副会長交代――

(2) 連絡協議会の進め方（ルール）について

【事務局説明】

- 会議の開催は、概ね2ヶ月に1回、年5回程度の開催を予定しており、特別な開催事由があれば、随時開催することとなっている。
- 会議日程については、委員の出席しやすい日程として、曜日と時間を設定しており、昨年度は、火曜日が木曜日の午後7時から開催している。
- 会議の傍聴に関する取扱いを策定し、傍聴希望者については、傍聴届に住所氏名を記入した上で、10名以内の傍聴を受入れている。
- 会長及び専任者が出席できない場合の代理の出席については、これまでも認めており、今年度も認めることとしたと考えている。

【結果】

- 異議なしとして、了承された。

(3) えんとつフェスティバル2016の実施について

【事務局説明】

- 今年は第14回の開催であり、例年どおり連絡協議会と衛生組合の共催ということで願いたい。
- 今年は10月8日（土）を予定しており、雨の場合は、日曜日に順延する。両日雨の場合は、日曜日に「えんとつ市」の開催を予定している。
- 事務局では、実行委員会を組織したいと考えている。連絡協議会からは、実行委員2人、会計1名、監査1人をお願いしたい。
- 連絡協議会を構成する自治会員の方に、当日の地域役員として協力をお願いしたい。第2回連絡協議会で、自治会長宛に協力人数等の調査をお願いしたいと考えている。

【主な意見】

- 地域役員であるが、当日の内容が決まっていない中で募集は早いのでは。⇒(小平・村山・大和衛生組合)
- 当日の内容は、前年度と変更はないものであり、お手伝いが可能な方がいれば協力を願いたい。

【結果】

- えんとつフェスティバル2016は、例年どおり連絡協議会と衛生組合の共催として開催し、開催日は10月8日（土）とすることで了承された。
- 実行委員会役員は、事務局案とおりで了承された。
- 自治会の役員の協力を30程度お願いし、第2回の連絡協議会で、地域役員の依頼をアンケートとして各自治会長さんに行うことが了承された。

(4) 組合施設更新について

【事務局説明】

- ごみ処理施設の更新について、概要を説明。

【主な意見】

- 現在のごみ処理は360トンまで行っているのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 組合施設は3炉360トンのごみ処理能力があるが、2炉運転が現状である。
- 3市の人口が増えているのに対して処理能力を下げるのは逆のようだが。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 3市の人口は増えているが、ごみ量は一時期に比べ減少しており、今後も3市と組合を含めた4団体で減量施策の取り組みを協調して行っていきたい。
- 具体的にどの施設を建て替えるのか。住民としては、建て替え後に、トラックがどの場所を通るのが知りたい。道路を整備すると、車の台数が増えることを懸念している。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 現在の不燃・粗大ごみ処理施設とごみ焼却施設について建て替えを行う。新粗大ごみ処理施設は、現小平市清掃事務所用地に建て替えを行う。また、新ごみ焼却施設は、現在の焼却施設を運転しながら、2系統ある炉のいずれかを解体して建て替えを行う。また、トラックの搬入路であるが、変更は今のところ予定していない。
- 建て替え後のメンテナンスは問題はないのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 現時点では、ごみ処理施設のピットを活用しながら、対応していく予定である。
- 今後の施設整備のあり方の資料のうち、現状ではどの案で進める予定なのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- C案で進めていく予定である。

(5) 組織市からの連絡、報告について

①小平市

- 3月24日(木)にリサイクルきゅらばんをサミットストア小平上水本町店で実施した。陶磁器食器や使用済み小型家電や雑貨等のリサイクルを目的に実施し、合計で約

- 1620キロを回収した。主な回収量は、陶磁器が約1430キロ、小型家電が約46キロ、牛乳パックが約40キロであった。今年度は、4回実施する予定であり、次回は7月に実施するが、詳細は市報やホームページでお知らせするので、よろしく願いたい。
- 5月29日（日）に「ごみゼロフリーマーケット」が市役所の北側立体駐車場で午前10時から午後2時まで開催され、多くの方の来場をいただいた。当日は、陶磁器食器や小型家電、廃食油等の回収のほか、フリーマーケット、おもちゃの病院、食物資源堆肥の無料配布、東京水のきき水配布、薬事相談、省エネクイズパネル展示等、各団体の協力をいただきながら啓発活動を行ったものである。今回は、市内の農家の方に、食物資源堆肥を利用したキャベツの栽培に協力していただき、当日の焼きそばの食材に活用させていただいた。
- 小平市リサイクルセンターの整備については、本年2月に基本計画を策定したが、その概要について説明させていただく。小川東町にある施設の老朽化に伴い整備するものであるが、公害防止基準を設定し、建築デザイン計画を作り、施設の中にプラザ機能の形で啓発機能を設ける予定である。また、現在のリサイクル施設を解体後、その跡地の有効利用が可能となることから、地域還元エリアとして整備する予定である。現在、施設の工事発注準備を行っており、施設稼働は平成31年度から、現施設の跡地利用（地域還元エリア）は平成33年度からとなる予定である。
- 食物資源循環モデル事業についても昨年度に引き続き実施し、参加世帯の拡大、マイバッグ講習会などの啓発活動を含めたごみの減量への取り組みを推進していくので、よろしく願いたいしたい。

②東大和市

- 廃棄物に係る広報紙「ごろすけだより」を発行し、市内全戸に配布させていただいたところである。この場でも配布させていただいたが、当市の取り組みについて参考にしていただければと思う。
- 6月5日（日）に東大和市役所において環境市民の集いを実施したが、今年度は、くつ、かばん、ぬいぐるみの回収を実施し、全体の回収量は、1500キロとなったものである。

③武蔵村山市

- 生ごみたい肥化モデル事業であるが、ごみ減量、資源化推進のため、平成26年10月から市内2地区の合計100世帯の協力により実施しているが、平成28年度から、100世帯を追加して合計200世帯に拡大して実施するが、現在新たなモデル地区に参加の協力を願っているところである。来週には説明会を開催し、参加いただける世帯は本年7月から開始する予定である。
- スマートフォンアプリを活用し、ごみ収集カレンダーの表示、ごみ分別辞典の検索や市からの情報発信ができる、ごみ情報提供システムの導入を進めているが、本年8月から稼働を予定している。

(6) 衛生組合からの連絡・報告

①総務課

- 本年4月に、組合議会が開催され、小平市副市長が組合助役となる。組合助役の選任の同意が行われ、条例や補正予算等の議案についても可決されたものである。
- 本年4月に収集車の監視活動を実施したが、概ね良好であった。

②業務課

- 平成27年度、28年度焼却施設維持管理状況について説明を行った。

③計画課

- 計画課では、ごみ処理施設の計画、調査、統計に関すること、連絡協議会や、えんとつフェスティバルに関すること、足湯施設に関することを担当している。
- 3市共同資源化事業は、小平市・東大和市・武蔵村山市では、今後更なる廃棄物の減量とリサイクルを進めるうえでの課題として、処理施設の老朽化や処理能力の限界などがあり、これらの課題解決に向けて、3市と衛生組合の4団体で進めている事業である。この事業は、平成15年度から進めており、ごみ焼却施設の更新を視野に入れ、ソフト面では減量施策や3市の資源化基準の統一など、ハード面では3市共同資源物処理施設の整備と不燃・粗大ごみ処理施設の建設について、現東大和市暫定リサイクル施設用地と現小平市清掃事務所用地を活用して建設する内容の事業である。
- 東大和市桜が丘に建設する資源物処理施設については、平成26年2月に施設周辺の自治会等を対象に施設整備地域連絡協議会を設置し、概ね月1回のペースで会議を開催し、施設見学や勉強会も行い、理解を深めていただくよう努めているところである。
- 啓発事業として、広報えんとつの発行を年2回、9月と3月に行っており、連絡協議会を範囲とした地域版と、3市全域を範囲とした全域版の2種類がある。また、各市で行われる環境イベントに組合として参加し、アンケート調査等を行い、組合事業の普及・啓発に努めている。

【主な意見】

- 東大和市の広報紙を見ると、3市のごみは組合へ集まるのに、分別方法が違うのか。⇒(東大和市)
- 平成31年度を目途に、3市のごみの排出方法の統一に向けて、取り組んでいく予定である。

(7) 意見・要望について

- 避難訓練は、組合に要望すれば対応してくれるのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 組合では、避難訓練を実施しているが、地域の方の参加をいただいた場合は、防災訓練となり、小平市の方の領域になるようなので、ご理解いただきたい。

7 その他

【事務局説明】

- 灯りまつりは、地域の伝統を伝え、小平市の魅力をPRしながら、市民手作りの夏のイベントとして、平成18年度から開催されており、地域交流、世代間、親子間の交流を深めることを目的としている。過去の連絡協議会において、足湯施設を活用した地域イベントを開催できないかとの意見もあり、地域交流の活性化に相応しく、委員の了承を得たことから、第8回から参加となったものである。開催概要及び日時であるが、平成28年8月6日（土）午後6時30分から午後9時で、雨天中止となる。また、灯りまつり実行委員会が9回程度開催予定であり、代表者が出席することとなるが、出席は、可能な限り、連絡協議会事務局の計画課において対応する。参加者は、原則として連絡協議会構成自治会員とし、連絡協議会を通じて各自治会員に参加を要請するが、現在、1自治会1個の灯ろうが用意されている。灯ろうを作成可能な方は、事務局まで連絡していただきたい。

【質疑等】

- ポスターはいつ頃作成されるのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 7月頃になると思われる。

8 開会のあいさつ（会長）

平成28年度第2回（第104回）連絡協議会（第1回えんとつフェスティバル実行委員会合同）

日時 平成28年7月28日（木） 午後7時から午後8時10分まで
場所 小平・村山・大和衛生組合 4・5号炉 3階 大会議室

<第2回連絡協議会>

- あいさつ 連絡協議会 会長
- 議題

(1) 組織市、衛生組合からの連絡、報告

①小平市

- リサイクルきゅらばんであるが、陶磁器食器や小型家電、雑貨などのリサイクルを目的に7月21日（木）午後に小平市清掃事務所で実施した。回収実績は、合計で約720キロで、陶磁器食器約580キロ、小型家電約50キロ、雑貨類約44キロを回収した。次回は、9月10日（土）に開催予定の環境フェスティバルで陶磁器食器等の回収を予定しており、リサイクルきゅらばんを11月8日（火）に実施する予定である。
- 暑中お見舞いのはがき等の回収は、8月20日号の市報で掲載予定である。8月20日から9月16日の間、市内の郵便局において不要になったはがきの回収箱を設置するので、ご利用ください。

②東大和市

- 平成27年度廃棄物排出状況の速報値を報告させていただく。全体で出た廃棄物は、可燃ごみから集団回収まで含め、1年間で21,055トン排出された。1人1日あたりの排出量では、683.1グラム、平成26年度が726.8グラムであった。有料化して2年を迎え平成27年度は、1人1日あたりの排出量が700グラムを下回った状況です。また、可燃ごみから集団回収までの各項目の排出量と前年度の比較はのちほどご覧ください。

③武蔵村山市

- 平成26年10月から、生ごみのたい肥化モデル事業を実施している。これは市内2地区から、合計100世帯を対象に実施しているが、平成28年度はさらに100世帯を追加し合計200世帯に拡大して、モデル事業を実施する。すでに、新たな2つのモデル地区、中原と神明の自治会に対し説明会を開催し、参加世帯は中原地区が7月1日から、神明地区が7月7日からモデル事業を開始している。参加世帯は、中原地区が44世帯、神明地区が27世帯合計78世帯でのスタートとなっている。今後、ホームページでのお知らせや、職員が直接自宅を訪問し目標の世帯に達成するよう努める。
- 8月1日からスマートフォンアプリを活用してごみ収集カレンダーの表示やごみ分別辞典の検索に市からの情報発信ができるごみ情報システム、武蔵村山市のごみ分別アプリの無料配信を開始する。8月1日以降の市報や市ホームページ、転入者へのチラシ配布などを行い、周知に努めていく。

④衛生組合

（総務課）

- 地元自治会のふれあい盆踊りの開催の通知を頂いた。今年は7月30日に開催されるこのことで、組合管理者は公務により参加できないが、管理者交際費より、夏祭り祝い金を用意させていただくので、よろしく願いたい。

（業務課）

- 「平成28年度 焼却施設維持管理状況一覧表」について説明。

（計画課）

- （仮称）3市共同資源物処理施設生活環境影響調査書であるが、告示が7月14日（木）、冊子の縦覧期間が7月15日から8月15日まで、衛生組合、小平市資源循環課、東大和市ごみ対策課、武蔵村山市ごみ対策課で縦覧を行っている。生活環境保全上の意見書は8月29日まで提出でき、説明会を7月29日（金）午後7時からこの場所で予定している。
- 灯りまつりを、8月6日（土）午後6時半から9時まで開催する。灯りまつりは、連絡協議会主催の事業であり、参加いただける方は、灯籠の設置などご協力をお願いしたい。灯籠は皆様や足湯施設美化アダプトの協力をいただいた。当日は、4時半まで通常の開場しており、4時半過ぎに手伝いをお願いしたい。松の木自治会の協力により、かき氷、生ビールの出店、あさやけ風の作業所の協力により、通常通り売店を開店し、ポップコーンの出店を行う予定である。オカリナ演奏もあるので、お越しいただきたい。
- 不燃物処理施設と焼却施設の建て替えに関するスケジュールの説明をさせていただく。粗大ごみ処理施設は、小平市清掃事務所用地に建設し、平成30年度着工、平成32年度より稼働する予定である。焼却施設は、本年に基本計画や機械の発注仕様書等の計画を策定し、環境影響評価を実施する予定である。具体的には、平成32年度着工し、現在の敷地の中で建替えを行うため、一部焼却炉を稼働しながら半分を解体

～連絡協議会では施設見学に行ってきました～

- 連絡協議会では、平成28年3月10日（水）に施設見学会を行いました。今回見学した施設は、川崎市浮島処理センターで、参加者は地域の皆さん及び組織市・衛生組合職員で合計21名でした。
- 今回見学した川崎市浮島処理センターは、平成3年に着工、7年に竣工しました。焼却炉の処理能力は、1日900トン（300トン×3炉）あり、発電設備（12,500キロワット）や動物死体処理施設用焼却炉も設置されています。粗大ごみ処理施設は、平成7年に竣工、1日50トンの処理能力を有しています。資源化処理施設は、平成23年に竣工、ミックスペーパーが1日70トン、プラスチック製容器包装が1日55トンの処理能力を有しています。また、環境に関する体験型の施設として、かわさきエコ暮らし未来館が併設されています。
- 当日は、川崎市浮島処理センター、粗大ごみ処理施設、資源化処理施設、かわさきエコ暮らし未来館の順に見学しました。浮島処理センターでは、プラットフォーム、ごみピット・ごみクレーン、灰ピット・灰クレーン、公害防止設備、余熱利用設備の順に見学し、参加者から、発電に関する質問が多く出され、関心の高さがうかがえました。また、かわさきエコ暮らし未来館では、担当者から、南北に広い川崎市の地形的特徴と廃棄物の鉄道輸送に関する説明を聞く機会があり、皆さん熱心に説明を聞いておりました。

足湯情報

～灯りまつりが行われました～

足湯では、8月6日（土）午後6時30分から9時まで「第11回灯りまつり」が行われました。灯りまつりは、小平市グリーンロード推進協議会、灯りまつり実行委員会主催で行われており、足湯会場は、今年度で4回目となりました。灯りまつりは、市民が灯ろうを作製し、会場に持参し参加する行事で、連絡協議会や足湯施設美化アダプトの協力を得て、灯ろうを足湯内に配置しました。会場には地域の方の協力により模擬店も出店され、昨年より多くの方に来場いただき、地域の行事として定着した様子がうかがえました。また、昨年同様に有志によるオカリナの演奏もあり、多くの方がその優しい音色に聴き入っておられました。参加していただいた皆様には、大変ありがとうございました。

し、そこに新焼却施設の建設を予定している。その後解体工事を行い、平成34年度より建設工事を進め、平成37年3月末、平成37年4月より稼働する予定である。平成37年度の新焼却施設の稼働後に、現焼却炉の解体工事を行い、管理棟など設備に入らない部分を整備し、平成38年度末で終了となる。連絡協議会では、逐次情報提供させていただき、事業を進めていくので、よろしく願いたい。

<質疑等>

- 新ごみ焼却施設の対応年数はどの程度か。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 機械装置は概ね15年～20年、建物を含めると、40年～50年と想定している。
- 松の木通りであるが、大型車の通行もあり、整備の状況は。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 今後検討していきたい。
- 新焼却施設であるが、中のレンガ等がダメになるので、変えていくのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 焼却炉内の耐火レンガは、もっと短い耐用年数となる部分もあり、修繕が必要となる大規模な設備の修繕等が15年～20年で必要となる。
- 新施設の環境対策についてはどうか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 集じん器では、電気からバグフィルタへ変更となっており、ばいじんは、かなり軽減されている。有害ガスの除去能力を高めた排ガス装置を導入し、環境へ配慮していきたいと考えている。
- 粗大ごみの組合の搬入は可能なのか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 可能である。

(2) えんとつフェスティバル2016実行委員会委員について

- 事務局より、実行委員会委員候補者について名簿のとおり提案。

【結果】

- 実行委員会委員名簿（案）のとおり「了承」された。また、組合企画委員会委員長の紹介を行った。

(3) 意見・要望について

- 特になし。

(4) その他

- 特になし

3 開会

<第1回えんとつフェスティバル実行委員会>

1 羽根田副実行委員長あいさつ

2 議題

(1) えんとつフェスティバル2016概要について

【事務局説明】

- 開催趣旨書（案）、開催要項（案）、概算予算（案）等について説明。

<主な意見等>

- 補助金増についての説明をお願いしたい。
- フェスティバルは賑やかにしていただきたい。
- イベントの出演者に小平在住の方がいるかどうか。
- 小中学生のダンスのグループの出演もできるかどうか。⇒（小平・村山・大和衛生組合）
- 補助金の増であるが、現時点では、イベントを充実していきたいと考えている。また、イベントであるが、実行委員と組合で今後話し合っていきたい。

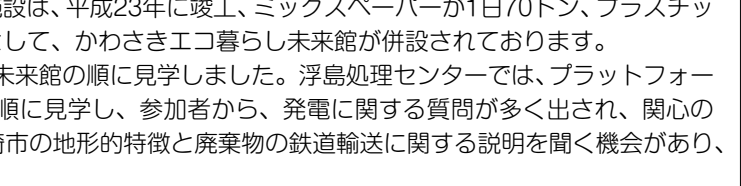
(2) 地域役員の確保について

当日に協力いただける人数を把握するため、事務局から自治会へ依頼しているが、強制ではないものの、今年度も同様に協力をお願いしたい。

(3) その他

今回の実行委員会（単独）は、8月25日（木）午後7時から、連絡協議会・実行委員会（合同）は、9月23日（金）午後7時から、衛生組合会議室で開催することとした。

3 開会



～こもれび募金（足湯施設美化アダプト募金）実績報告～

- 皆様からの募金のご協力ありがとうございました。平成27年度の実績報告ですが、繰越金等を含む募金総額204,698円から、140,079円を園芸用資材や花の苗などに活用させていただきました。

